

公益財団法人日本宇宙少年団 令和6年度 事業報告書

I. 人材育成事業 (公1)

当財団が実施するスペースキャンプは、夏休みや春休みの期間に開催しており、毎年定員を超えるほどの高い人気を博しております。今年度も、初めて出会う仲間たちとグループを組み、設定されたテーマに沿ってさまざまな課題に取り組む活動を行いました。

また、冊子「宇宙のとびら」に同封する付録教材につきましては、昨年度に引き続き、製作費および送料の負担が大きな課題となっておりましたが、上廣倫理財団からの助成金により、宇宙飛行士をテーマとした教材2種類を無事に製作することができました。

さらに、米国Akamai財団より、国内で初めてSTEM教育を実施する団体への助成を受け、「水ロケットシミュレーター」を用いた教育活動も実施いたしました。

近年、宇宙開発への関心が高まるなか、外部からの依頼を受けて全国各地に講師を派遣し、日本宇宙少年団の活動の普及および広報にも寄与することができました。

以上のとおり、令和6年度の事業内容について、下記のとおりご報告申し上げます。

1. スペースキャンプ事業
2. 情報発信（宇宙情報誌等）事業
3. webによる普及啓発事業
4. 理事会及び評議員会の開催

1. スペースキャンプ事業

(1) 種子島スペースキャンプ

ロケット打上げ射場がある種子島において、「宇宙・自然・交流」をテーマに、さまざまな体験学習を実施しました。中でも、スペースキャンプにロケット専門家が同行し、専門的な講義のほか、iPadを用いた水ロケット打上げシミュレーション操作体験を行いました。

水ロケットの打ち上げ前に、グループでシミュレーションを行い、空気圧・水の量・発射角度といった変数が飛距離に与える影響を検証しました。各班では役割分担をし、iPadで打上げの様子を動画撮影し、それを見返して分析することで、実際の打上げ時には

観察力が高まりました。また、結果をグループ内で共有することで、コミュニケーション力や協働する姿勢の向上にもつながりました。

時期：2025年3月26日（水）～29日（土） 3泊4日

場所：鹿児島県・市内及び種子島

対象：小学4年生～中学生の団員及び一般 40名

講師：三浦政司氏（ISAS）

支援：Northrop Grumman、南九州ファミリーマート

行程：

スケジュール	主な内容
1 日目 (鹿児島市内)	鹿児島市内ホテル 集合 ロケット専門家による「お仕事（研究）について」のお話
2 日目 (種子島)	JAXA増田宇宙空間追跡所 見学 地元種子島郷土料理のお話と昼食 オンラインで上垣内理事による「種子島宇宙センターの紹介」、質疑応答 水ロケットシミュレーターの説明と水ロケット工作
3 日目 (種子島)	JAXA種子島宇宙センター見学 水ロケット打上げ実証実験 打上げ結果についてグループ発表とJAXA職員による講評 3日間を通した体験発表
4 日目 (一)	種子島空港または鹿児島港で解散

(2) 相模原スペースキャンプ

筑波宇宙センター展示館「スペースドーム」が夏休み期間中に建屋工事のため休館していたことから、代替として宇宙科学研究所を訪問し、以下のプログラムを実施しました。宇宙探査イノベーションハブ「宇宙探査フィールド」では、最新の探査技術に関する見学を行い、SORA-Qの操作体験を通じて月面探査技術への理解を深めました。さらに、「宇宙科学探査交流棟」の見学や、小型月着陸実証機「SLIM」プロジェクトに携わる専門家による講話を聴講し、最前線の宇宙探査に関する知見を得る貴重な機会となりました。宿舎に戻った後も、引き続きSORA-Qを用いたグループミッションに取り組み、設定されたコースでタイムを競いました。また、月面に氷が存在するという想定のもと、水素燃料を模した「水素ロケット」に関する講義および打上げ体験を実施し、月資源の利活用に関する学びを深めました。

このように、月をテーマとしたJAXA宇宙科学研究所での体験を通じて、宇宙科学技術に対する理解と探究心を育む有意義な学習活動となりました。

時期：2024年8月7日(水)～9日(金) 2泊3日

場所：JAXA宇宙科学研究所

対象：小学4年生～中学生の団員及び一般 30名

講師：柳川孝二氏（YAC相談役／JAXAOB）、上垣内茂樹氏（YAC理事／JAXAOB）

支援：Northrop Grumman

行程：

スケジュール	主な内容
1 日目	都内集合 JAXA宇宙科学研究所 宇宙探査フィールド施設見学、SORA-Q操作体験
2 日目	相模原市立博物館 プラネタリウム鑑賞 JAXA展示館見学（宇宙科学探査交流棟）、SLIMプロジェクト職員によるお話
3 日目	大学セミナーハウス内講義、水素ロケット工作、打上げ 体験発表 都内移動、着後解散

2. 情報発信事業

(1) 宇宙情報誌「宇宙のとびら」の発送

宇宙に関わる様々な分野や研究者の活動紹介、そして宇宙及び科学に関する最新のニュース、新しい科学の発見などを誌面で紹介し、子どもたちの宇宙及び科学に対する関心・好奇心を育むことを目的として宇宙情報誌「宇宙のとびら」の編集に協力し、年4回（6月、9月、12月、3月）発行し、団員や賛助企業等への発送をはじめ、分団活動や財団事業で配布し広報活動等に役立てました。

【発行】

- 6 月：No.068「おかえりなさい古川宇宙飛行士！ISSでの暮らしいろいろ」夏号
- 9 月：No.069「雲を調べて気象変動を予測 はくりゅう」秋号
- 12月：No.070「70号記念 宇宙にいどむ人々スペシャル」冬号
- 3 月：No.071「みんなにやさしい飛行機の旅へGO！」春号

(2) YAC通信の発行

イベントの告知や終了したイベントの報告、分団での活動紹介等の情報をまとめた「YAC通信」を年4回（6月、9月、12月、3月）発行し、「宇宙のとびら」と一緒に団員へ発送しました。

(3) 付録教材の発送

子ども達の宇宙への興味・関心を高める簡易教材を開発し、宇宙情報誌「宇宙のとびら」に同封し、YAC 団員及び関係者へ発送しました。中でも、12月と3月の教材は、公益財団法人上廣倫理財団の助成金で製作し、12月配布教材は、全国137館に見本を配布、教材を使ったオンラインイベントを通して新規入団に繋がる成果を上げました。

- 6 月：ミニ冊子「おめでとう SLIM!!」（上廣倫理財団）※前年度予算で製作
「SLIM」クリアファイル（三菱電機提供）
- 9 月：「ジェイムズウェッブ宇宙望遠鏡」ステッカー（3種類のうち、どれか1点）
- 12月：オリオン乗員生命維持システム ペーパークラフト（上廣倫理財団）
- 3 月：探査船外活動ユニット ペーパークラフト（上廣倫理財団）

(4) 団員への送付物

入団に際し、団員特典として、新規団員は団員証、バッジ、パスポート、冊子、YAC 通信、付録教材等を送付し、継続団員は団員証、パスポート、冊子、YAC 通信、付録教材等を制作・送付しました。

(5) 団員管理システムの維持管理

財団独自に構築している団員管理システムにより、分団活動及び団員一人一の個人情報の適切な管理に努めています。

昨年度のホームページのリニューアル後、分団活動等ページを見やすくしたことにより、分団活動情報の速やかな掲載や新しい情報発信ができるようになりました。

3. Webによる普及啓発活動

(1) 分団等連携団体との協力推進

①分団等との連携協力

宇宙および科学技術を共通の題材とした子どもたちの人材育成には、全国の分団との連携・協力が不可欠です。そのため、活動委員会を中心に、全国の宇宙少年団分団との連携を推進し、体系的な指導法や共通の育成方針の共有に取り組んでいます。

本年度は、その一環として、分団活動の紹介や教材の共有、意見交換や交流を目的とした「分団長会議」を、11月16日（土）および17日（日）の2日間にわたり開催しました。分団長会議は対面とオンラインの併用により、参加しやすい環境を整えたことで、今年も多くの方に参加いただきました。

②活動委員会

分団などの連携団体との協力を進めるために、活動委員会では今年度も引き続き、以下の取り組みを実施しました。

- ・第14回衛星データ利用コンテスト
- ・だいち2号に写ろう！
- ・分団長会議
- ・宇宙教育指導者セミナー
- ・YAC分団の活動実態調査、分団のWebサイト報告活性化、分団表彰
- ・活動教材の充実
- ・新たな挑戦地球型惑星を目指して「YAC全国ワークショップ」
- ・YACかわら版
- ・宇宙教育誌の発行
- ・全国水ロケット大会「YAC水ロケットコンテスト2024」
- ・YAC宇宙パスポートの改訂

③宇宙教育指導者セミナーの開催

社会教育団体活動の指導者育成を目的とするセミナー（高校生を除く18才以上を対象）を、JAXA宇宙教育センターと（公財）日本宇宙少年団が主催となり、全国の開催地域と連携協力しながら、現地対面受講とオンライン受講を合わせたハイブリッド方式で今年度も以下のとおり全国で年10回実施しました。

- ・第1回宇宙教育指導者セミナー(対面・オンライン併用開催)
2024年5月26日（日）潮岬青少年の家（和歌山県東牟婁郡串本町）
対面21名、オンライン59名、計80名
- ・第2回宇宙教育指導者セミナー(対面開催)
2024年6月30日（日）コラッセふくしま（福島県福島市）
対面14名
- ・第3回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2024年7月14日（日）X-NIHONBASHI（東京都中央区日本橋）
対面9名、オンライン27名、計36名
- ・第4回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2024年7月20日（土）豊住交流センター（北海道大空町）
対面20名、オンライン18名、計38名

- ・第5回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2024年9月28日(土) X-NIHONBASHI (東京都中央区日本橋)
対面4名、オンライン42名、計46名
- ・第6回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2024年12月15日(日) 筑波宇宙センター(記者会見室)(茨城県つくば市)
対面11名、オンライン61名、計72名
- ・第7回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2025年1月12日(日) X-NIHONBASHI (東京都中央区日本橋)
対面12名、オンライン34名、計46名
- ・第8回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2025年1月26日(日) 久留米工業大学(福岡県久留米市)
対面14名、オンライン27名、計41名
- ・第9回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2025年2月23日(日) 四日市市総合会館7階 第2研修室(三重県四日市市)
対面6名、オンライン23名、計29名
- ・第10回宇宙教育指導者セミナー(対面開催・オンライン併用開催)
2025年3月2日(日) X-NIHONBASHI (東京都中央区日本橋)
対面13名、オンライン38名、計51名

(2) 活動マニュアル等のweb公開

YAC指導員のみならず広く一般に、活動教材集や宇宙教育誌をwebで公開し、活動の素材を提供しました。

(3) webを通したイベントの取組み

財団主催及で実施するコンテストや団員のみならず広く一般を参加対象とするイベントなどの募集や実施結果等をwebで公開し、子ども達の宇宙及び科学に関する普及啓発を行いました。

今年度は、YouTubeで「オリオン乗員生命維持システム」のペーパークラフト教材の作り方を配信するとともに、新たに開設したInstagramでは財団事業に関連する投稿を行い、フォロワー数も徐々に増加しています。

(4) 講師派遣等

①外部への講師派遣

広く一般を対象に、宇宙および科学に関する知識の普及啓発と宇宙教育の推進を目的として、外部からの依頼に応じてリモートおよび対面によるイベントへ当財団役職員を講師として派遣し、以下のとおり普及活動を行いました。

- ・特別セミナープログラム「海洋と宇宙の連携」司会進行
- ・ノースロップ・グラマンキャンプ ハンツビル派遣における中学生徒と教諭の相模原キャンパス事前研修会
- ・ぐんまスペースアワード2024「宇宙兄さんズ宇宙教室」

- ・多摩六都科学館「子ども体験塾 夏季プログラム」計5回実施
- ・宇宙シンポジウム in 串本2024 講演
- ・「えひめ宇宙フェス in なんよ」宇宙兄さんズ講演
- ・大塚薬報2024年9月号 寄稿
- ・国分寺市 5市共同事業子ども体験塾「子ども宇宙フェスティバル」宇宙兄さんズワークショップ
- ・「宇宙なんちゃら こてつくん」那智勝浦町宇宙・ロケット打上げ応援アンバサダー就任記念特別ワークショップ 宇宙兄さんズ講演
- ・空宙博 新企画棟完成記念特別企画展「月への挑戦」宇宙兄さんズ講演
- ・金沢市「起業家育成講座」講師
- ・和歌山県串本町「宇宙フェスティバル2024」講演
- ・和歌山県串本町「宇宙フェスティバル2024宇宙食の作り方」講演
- ・中部科学技術推進会「宇宙探査の今と未来」講演

②連携団体（分団）への講師派遣

日本宇宙少年団分団からの講演依頼に対し、宇宙及び科学をテーマに合わせ、当財団役員を派遣しました。

- ・福島分団 オンライン（2024年4月28日）
- ・手賀沼カップ分団（2024年6月16日）
- ・静岡磐田分団（2024年12月7日）
- ・逗子分団（2025年3月16日、3月30日）

4. その他事業

Akama i財団（アメリカ企業）「グローバルSTEM教育助成金プログラム」の1年目が終了し、水ロケット飛翔シミュレーションを用いた実証実験を行いました。

子どもたちは水ロケットを工作するだけでなく、打上げイメージの試行錯誤を通じて、科学的な視点から物事を考える姿勢が育まれ、空気圧や水の量、発射角度などが飛距離にどのように影響するかを事前に理解できたことで、実際の打ち上げでは目的意識と観察力が高まりました。また、水ロケットシミュレーションは財団ホームページで公開し、誰でも自由に利用できるようにしました。

II. 管理運営等

（1）理事会

令和6年度 第1回理事会

- 1 日 時 令和6年6月3日（月）15時より
- 2 開催形式 対面およびweb会議システム「Zoom」による開催
- 3 審議事項
第1号議案 令和5年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

令和6年度 第2回 臨時理事会

- 1 日 時 令和6年7月1日（月）15時より
- 2 開催形式 対面およびweb会議システム「Zoom」による開催
- 3 審議事項
 - 第1号議案 理事長の選定の件
 - 第2号議案 専務理事の選定の件

令和6年度 第3回理事会

- 1 日 時 令和7年3月10日（月）14時より
- 2 開催形式 対面およびweb会議システム「Zoom」による開催
- 3 審議事項
 - 第1号議案 令和7年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について
 - 第2号議案 2025年度のYAC活動委員会のミッション案及び活動委員の選任について

（2）評議員会

令和6年度 定時評議員会

- 1 日 時 令和6年6月24日（月）14時より
- 2 開催形式 対面およびweb会議システム「Zoom」による開催
- 3 審議事項
 - 第1号議案 第1号議案 定款の改定について
 - 第2号議案 令和5年度事業報告及び計算書類等承認の件
 - 第3号議案 ゆうちよ銀行（参加口）口座解約の件
 - 第4号議案 評議員9名選任の件
 - 第5号議案 理事9名選任の件
 - 第6号議案 監事2名選任の件

3. 会 員

活動委員会では、定期的に全国の分団活動状況調査や分団活動報告を確認し、全国の分団活動状況や活動計画を把握する手掛かりにしています。また、日本宇宙少年団活動も35年以上が経ち、これまで多くの団員やリーダーが巣立っていきました。こうした中で、かつての団員が再びYACの仲間として活動に関わってくれることも増えてきています。そこで、元団員の皆さんを温かく迎え入れ、応援し合う関係を築くために、「一緒に宇宙を目指す仲間」という想いを込め「YACフェロー」という愛称を用いることにしました。

会員（団員）数の推移については、昨年度と比較して本年度は全体として増加傾向にあり、これは普及啓発活動を通じて団体への関心が徐々に広がったことが影響していると考えられます。次年度においても、こうした施策や工夫を継続的に実施し、さらなる団員の増加を目指してまいります。

4. 事務局体制

事務局体制は、基本的に、事務局長と旅行業務取扱責任者を併任する常勤1名と事務局員常

勤2名、非常勤1名の計4名で事業の運営及び管理業務に当たり、団員発送業務やスペースキャンプ事業、助成を受けた活動には、支援要員を増やして実施しました。

以上